

プレトラックコンセント



施工・取扱説明書

品番：JPTCB-ITGE
JPTC-ITGE

第1版
2019年5月

- 施工前に本説明書をよくお読みいただき正しく施工してください。
- 施工後は施主さまに商品説明をおこなってください。
- 本説明書の所定欄にご購入店もしくは施工会社名を記入の上、施主さまにお渡しください。
- 本製品はトラッキング現象の初期段階を検知し、電路を遮断する器具です。遮断によって起こる２次的損害について、当社は一切のその責任を負いかねます。
あらかじめご了承ください。
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって生じた故障など、当社は一切のその責任を負いかねます。
あらかじめご了承ください。
- 本説明書は大切に保管してください。
- 本説明書に記載されている仕様をはじめとする各事項は予告なく変更することもございます。
あらかじめご了承ください。

施工上のご注意

必ずお守りください

警告



- 有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。
- より線をはんだ固めしたり、傷や曲がった電線などを接続しないでください。
発熱して焼損や火災の原因となります。



- 結線する場合は電線を奥まで差し込んでください。
差し込み不足の場合、発熱して焼損や火災の原因となります。

⚠ 注意



- 水のかかる場所や高温、低温、多湿、粉尘の多い場所に取り付けないでください。
 - 発熱して焼損や火災の原因となります。
 - 硫黄ガスやアンモニアガスなどの多い場所、食用油などが付着しやすい場所には取り付けないでください。
- 焼損や火災の原因となります。



- アース工事を確実にこなしてください。
感電のおそれがあります。
- 絶縁抵抗測定では、電路より外してください。
故障の原因となります。
※ 電線（電路）と大地間の絶縁抵抗測定はコンセントを取り付けたままおこなえます。

施工前に

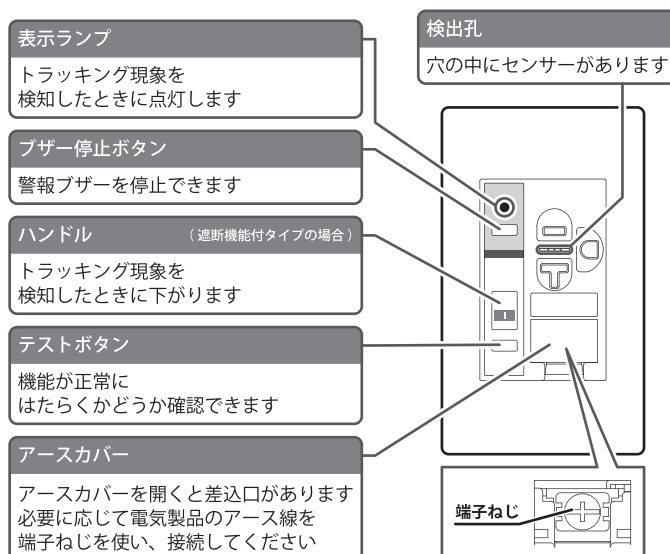
必ずご確認ください

1. 輸送中の事故などにより、
製品が破損していないかお確かめください。
2. 開梱したときに水濡れがないことを確認しお使いください。
3. 仕様でご要求のものと一致しているかお確かめください。

仕様・定格

定格電圧・電流	AC100V 20A
定格周波数	50-60Hz
定格短時間電流	1500A
接続可能電線	本体裏面 : $\phi 2$ および $\phi 2.6$ 銅単線 アースカバー内: 1.25 ~ 2.0 mm ϕ 1.6
適合スイッチボックス	開口寸法 (縦 × 横) : 72 mm × 47 mm 以上 有効深さ : 32 mm 以上

各部の名称とはたらき



※ 図は遮断機能とアラーム機能付タイプ

トラッキング現象とは

コンセントに差し込んだプラグに溜まったホコリに湿気が付着することでプラグの刃の間に微小な放電が起こります。トラッキング現象が繰り返されることでプラグより発火することがあります。



安全上のご注意

必ずお守りください

- 誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害は次のように想定されます。
それぞれの表示と意味を区別して、説明しています。

 警告	死亡または重傷の発生が想定される内容
 注意	中程度の傷害や軽症の発生 または物的損害のみが想定される内容

■お守りいただく内容を次の絵表示で区別して、説明しています。

	してはいけない禁止している内容
	必ずしなければならない強制の内容

警告



- 定格電圧、定格電流を超えて使用しないでください。
焼損や火災の原因となります。
- プラグは濡れた手で抜き差しをしないでください。
感電のおそれがあります。
- 電路の遮断によって 2 次的な損害の恐れのある医療機器、警報機器（ガス警報器など）、防火・防犯機器などの電源は取らないでください。

⚠ 注意



- テストボタンやハンドルをスイッチとして使用しないでください。
故障の原因となります。
- 検出孔に故意に異物を詰めないでください。
正常な動作ができなくなります。

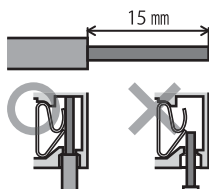


- 必ず電気製品のアース線を接続してください。
感電のおそれがあります。

結線方法

1 被覆をむく

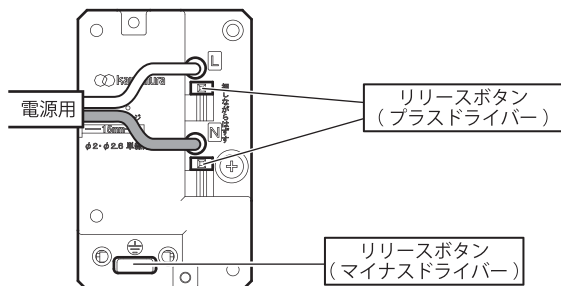
コンセント裏面のストリップゲージにあわせて被覆をむきます。
(φ2 および φ2.6 銅単線専用)



2 電線を差込む

電線を奥まで差し込みます。

■ 結線例



■ 電線の取外方法

ドライバーの先端でリリースボタンを押しながら外します。

△ 注意 ドライバーの先端でコンセントを破損したり、ケガをするおそれがあります。

アース線について

電気製品のアース線を接続する場合はより線：1.25 ～ 2.0 mm² もしくは単線：φ1.6 の電線を使用し、適切に処理してから接続してください。

■ 結線後

施工者さま	付属されている『動作後の復旧方法』シール上端部分を壁面とプレートの間に挟んでください。
施主さま	壁面とプレートに挟まっている復旧手順が記載されているタグをコンセント近傍の目の届くところに設置してください。

お問い合わせ先

販売元 神保電器株式会社

製造元 河村電器産業株式会社

技術相談専用テレホンサービス ☎ 0120-661435

※ 承り時間は

土・日・祝祭日・年末年始を除く、AM 9:00 ～ PM 5:00 です。

施工電気工事業者さまへのお願い

施工後に施工電気工事業者名と連絡先をご記入後、お客様にこの説明書をお渡しください。

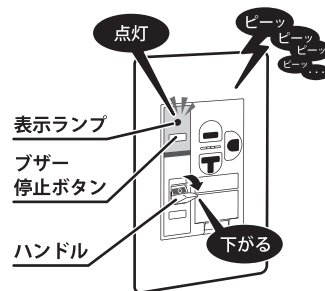
施工電気工事業者名

電話番号 () —
お引渡し日 年 月 日

動作と復旧方法

■ 動作時の状態

トラッキング現象の初期段階を検知すると表示ランプが点灯して警報ブザーが鳴ります。
(ブザーを停めるにはブザー停止ボタンを押してください)



遮断機能付タイプの場合

ハンドルが下がって表示が赤色から緑色に変わります。

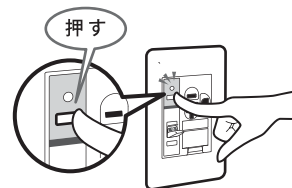
ハンドルが下がっていないまたは表示ランプや警報ブザーが作動していないにもかかわらず電気製品が作動しない場合

トラッキング現象以外の原因が考えられます。
ホーム分電盤や電気製品の取扱説明書をご覧ください。

■ 動作後の復旧方法

1 警報を停止する

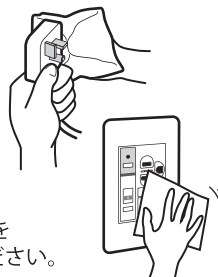
「ブザー停止」ボタンを押して警報ブザー音と表示ランプの点灯を停めます。



2 プラグを抜いて掃除する

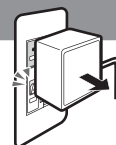
コンセントからプラグを抜いてプラグ両刃間のホコリとコンセント表面の汚れを乾いた布などできれいに掃除します。

※ ハンドル無タイプは電気製品の主電源が OFF になっていることを確認した後にプラグを抜いてください。



サイズが大きい電源プラグに干渉してハンドルが下がらない場合

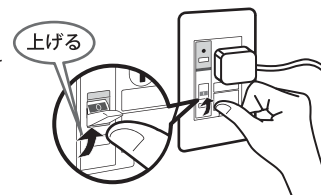
ハンドルが下がらなくてもコンセント内部の回路は遮断されています。
そのまま電源プラグを抜くとハンドルが下がります。



3 プラグを再度差込む

きれいになったプラグを再度コンセントに差し込んでください。
その後、コンセントのハンドルを上げます。

※ ハンドル無タイプはこの操作は不要です。



処置の完了

復旧処置が完了しても電気製品が作動しない場合はプラグを抜いて直ちに電気工事会社へ連絡をし、点検を依頼してください。